

## 1. 横浜市環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	613,950,504	令和元年11月15日
	内訳	うち、国費相当額	200,000,000
		うち、地方負担相当額	413,950,504
		うち、負担附寄附金等	0
②	基金運用益	107,300	
③	その他収入	4,479,636	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	57,360,802	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	561,176,638	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	200,000,000
		うち、地方負担相当額	361,176,638
		うち、負担附寄附金等	0

## 2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金残高		561,176,638	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		555,482,000	
⑩	保有割合		1.010	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠  
 運用型：運用益見込額÷事業費（次年度見込額）  
 取崩型：基金残高÷事業費（次年度から終了年度までの見込額）

## 3. 事業一覧

番号	事業名	合計	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
			一般財源等	基金充当額				
1	横浜型エコスタイル推進事業 (令和元年度より環境にやさしいライフスタイル推進事業へ名称変更)	1,016,444	0	1,016,444		100%	1,353,000	12,378,000
2	生物多様性横浜行動計画推進事業 (令和元年度より生物多様性保全推進事業へ名称変更)	8,774,780	7,180,422	1,594,358		100%	1,361,000	12,386,000
3	地域環境活動等支援事業	100,981,517	46,231,517	54,750,000		100%	66,340,000	530,718,000
4		0						
5		0						
6		0						
7		0						
8		0						
9		0						
10		0						
11		0						
12		0						
13		0						
14		0						
15		0						
合 計		110,772,741	53,411,939	57,360,802			69,054,000	555,482,000

## 4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	市民・企業などの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、横浜らしいエコライフスタイルの実践と定着を図ります。	
成果実績	環境に関心があり、行動に結びついている人の割合：80%	
目標値	環境に関心があり、行動に結びついている人の割合：98%	
達成度	81.6%	

事業番号

平成30年度 事業報告書

令和元年11月15日

事業名	横浜型エコスタイル推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	横浜型エコスタイル推進事業	開始年度	平成28年度
担当部署	環境創造局政策課	終了年度	平成38年度

1. 目的及び目標（値）

市民・企業などとの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、横浜らしいエコライフスタイルの実践と定着を図る。

2. 概要

地球温暖化対策や生物多様性に関する取組を市民や活動団体、企業、各区と連携しながら、プロモーションする。これにより、市民や企業が省エネや生物多様性保全などの環境保全活動に日常的に取り組む、横浜らしいエコライフスタイルを推進する。

3. 根拠法令等

環境基本法、横浜市地球温暖化対策実行計画、生物多様性横浜行動計画

4. 実施内容等

- ・環境プロモーション  
生物多様性をはじめとする横浜市の環境に関する取組を、イベントや図書館と連携したパネル展示等でPRした。
- ・こども「エコ活。」大作戦！  
小学生にチェックシートを配布し、家庭・地域での環境行動の取組を推進する。また、その取組を支援する協賛企業と連携し、国内外の環境保全活動の支援した。

事業番号

平成30年度 事業報告書

令和元年11月15日

事業名	生物多様性横浜行動計画推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	生物多様性横浜行動計画推進事業	開始年度	平成23年度
担当部署	環境創造局政策課	終了年度	平成38年度

1. 目的及び目標（値）

市民・企業などとの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、横浜らしいエコライフスタイルの実践と定着を図る。

2. 概要

「生物多様性横浜行動計画（ヨコハマbプラン）」の推進に向け、計画の普及啓発や、重点推進施策の実現に向けた検討、市民の生物多様性に対する理解促進、市民による生物多様性保全等の取組に対する支援等を行う。

3. 根拠法令等

横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例、生物多様性基本法、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、横浜市環境教育基本方針、生物多様性横浜行動計画

4. 実施内容等

- ・環境教育出前講座（生物多様性でYES！）  
ヨコハマ・エコ・スクール（YES）の枠組みを活用し、地域・学校を対象に生物多様性や環境全般について学ぶ場を提供した。
- ・活動支援事業  
横浜環境活動賞の表彰及び活動発表・交流会を実施した。
- ・行動計画普及啓発等推進  
生物多様性の基礎知識や生き物調査等の普及啓発を行った。

事業番号

平成30年度 事業報告書

令和元年11月15日

事業名	地域環境活動等支援事業	新規・継続区分	継続
事項名	公園愛護会活動等支援事業	開始年度	平成30年度
担当部署	環境創造局公園緑地管理課	終了年度	平成38年度

1. 目的及び目標（値）

市民・企業などとの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、横浜らしいエコライフスタイルの実践と定着を図る。

2. 概要

身近な公園の地域主体による管理・運営を促進し、公園から広がる地域まちづくりの実現を図るため、公園愛護会に対する謝金の交付に加え、フォローアップを取り入れた多様な技術支援、用具から広報品に及ぶ必要物品の提供支援を展開する。愛護会の連携やPR強化に向けては、愛護会相互の交流の機会である各区の愛護会のつどいを支援するとともに、様々なイベントの機会をとらえながら、広く一般への事業PRを推進する。

3. 根拠法令等

都市公園法、横浜市公園条例、横浜市公園愛護会事務取扱要綱、横浜市公園愛護会表彰要綱

4. 実施内容等

- ①公園愛護会の活動に対する報償費支出（活動面積に応じ2万円～4万円/団体）
- ②物品支援：活動に必要な物品提供（ゴミ袋・竹箒・活動中看板等の支給等）
- ③愛護会のつどい・通信：愛護会間の連携強化を図るイベント実施、行政と愛護会との情報交流（各区つどいの開催、愛護会通信の発行）
- ④公園愛護会表彰：永年の功績をたたえ個人・団体を表彰。
- ⑤公園愛護会PR：区民まつりや局内イベント等へのクラフト工房、ミニ体験型のブース出展やパネル展示等による事業PRの推進
- ⑥公園愛護会への現地支援を行う維持管理支援班による技術支援、環境出前講座等の実施